

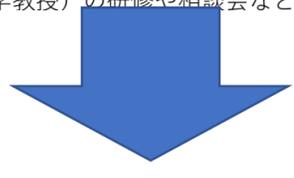
事業者向け放課後デイサービス自己評価表及び保護者等向け放課後等デイサービス評価表について

保護者による評価	職員による評価
<p>環境・体制設備</p> <ul style="list-style-type: none">・活動スペース狭いが配置により活動しやすく工夫されている・職員体制は充分である・バリアフリー化については玄関のみ・専門性の高い職員が配置・外部講師による相談会の実施	<p>業務改善</p> <ul style="list-style-type: none">・活動スペースは活動に合わせて配置換えを行っている。・子どもたちが安全に過ごせる職員体制を整えるため、自力通所を推奨し練習を行うことで自主来所が増え送迎の負担が減り室内の支援の質に繋がっている。・職員の専門性を高め、支援の質にこだわって活動、支援を行っている。
<p>適切な支援の提供</p> <ul style="list-style-type: none">・ひとりひとりに合わせた教材を丁寧に用意され丁寧に支援されている。・地域の障害のない子どもたちとの交流する機会はない。今年度も感染防止のため外部と交流はなし。	<p>関係機関や保護者との連携</p> <ul style="list-style-type: none">・学校、関係機関（児相・医療機関）と連携し、療育内容の共有しひとりひとりの適切な支援へ繋がっている。保護者からの相談に対して情報提供がでているよう進学先や関係機関との連携を積極的に行っている。外部講師を交えた相談会を実施し支援の質の向上に繋がっている。必要に応じて医療機関
<p>関係機関や保護者との連携</p> <ul style="list-style-type: none">・学校、児相、医療機関と定期的に連携出来ている。・保護者会は行っていない。	<p>保護者への説明責任等</p> <ul style="list-style-type: none">・現状報告及び今後の運営支援について保護者会はできないため必要に応じて個別（面談時）に対応している。活動案内にて運営方針など記載をしてい
<p>保護者への説明責任等</p> <ul style="list-style-type: none">・保護者への説明は面談時や毎月に活動案内にて今後の支援、運営について細かに説明されている。	<p>非常時の対応</p> <ul style="list-style-type: none">・半年に1回指定された広域避難場所へ活動中に避難訓練を取り入れている。抜き打ち訓練を実施。・防災センターにて、災害時の対応を学習、動画による学習の実施。・感染対策はマニュアル化、記録を徹
<p>非常時の対応</p> <ul style="list-style-type: none">・避難訓練は抜き打ちを実施。リアルさを再現・感染対策マニュアルは長期化に合わせて改訂版を作成し配布	



事業所内での分析・協議、検討

- ・活動スペースは京都市より別室利用を継続して利用することを認められている。
- ・地域交流する機会は職業図鑑として地域の方へのインタビューや公共交通機関の乗車練習において地域の施設訪問見学活動が増えた。
- ・ひとりひとりの支援に合わせて教材、自立に向けた訓練を実施して効果を発揮している。
- ・長期休暇に学習をテーマとした特別企画を日替わりで実施している。専門的な職員を配置し職員の専門分野を生かした活動を続けている。
- ・支援の質の向上のため研修や勉強会の機会を設け支援の質にこだわった活動ができるように取り組む。
- ・外部講師（福祉系大学教授）の研修や相談会など、支援の質が高まり職員が常に学習できる環境になった。



改善について

- ・他事業所へオンラインで学校紹介（職業科など）を行い好評。
- ・長期休暇など学休日に避難場所を確認している。抜き打ちでの本番さながらの訓練実施により職員と利用者を安全に誘導することを強化していく。
- ・保護者会は全体では実施せずニーズに応じて外部講師を交えて相談会を継続していく。
- ・ホームページ、SNSなど、全体に発信する媒体は法人本部管理。保護者配布便り（活動案内）が大変好評であり体験や学校にも配布を行い本施設の活動の理解を求めている。